

博士学位論文審査出願手続きについて

「学位論文審査の手続きについてご注意いただくこと（課程博士）」「同（論文博士）」「博士学位申請予定の方へ」等を確認の上、手続きをしてください。

京都大学大学院文学研究科

提出書類と部数

（課程博士）

- ① 学位審査願（所定用紙）……………1通
- ②論文……………4冊
（4冊のうち3冊は簡易製本でも可。京都大学保存用1冊は、口頭試問後でも可）
※参考論文（添付する場合）……………4冊 及び PDF データ
- ③論文全文データ（PDF）（提出は、口頭試問後でも可）……………CD-R または USB メモリ
- ④論文目録……………3通（別紙1を参考に作成してください）
- ⑤履歴書……………3通（別紙2を参考に作成してください）
- ⑥主論文要旨……………4通（A4版用紙で、6000字以内）
- ⑦博士学位論文の公表方法について（様式2）……………1通 及び Excel データ
（Excel データは、メール添付で送付してください）
- ⑧公表用論文要約（PDF 版）……………②と同じ CD-R 等に保存
（⑦で「要約公表」とした場合のみ提出・6000字程度にまとめたもの。提出は、口頭試問後でも可）

（論文博士）

- ① 学位申請書（所定用紙）……………1通
- ②論文……………4冊
（4冊のうち3冊は簡易製本でも可。京都大学保存用1冊は、口頭試問後でも可）
※すでに出版刊行されたものを提出する場合は、刊行本を4冊提出してください。
※参考論文（添付する場合）……………4冊 及び PDF データ
- ③論文全文データ（PDF）（提出は、口頭試問後でも可）……………CD-R または USB メモリ
- ④論文目録……………3通（別紙1を参考に作成してください）
- ⑤履歴書……………3通（別紙2を参考に作成してください）
- ⑥主論文要旨……………4通（A4版用紙で、6000字以内）
- ⑦博士学位論文の公表方法について（様式2）……………1通 及び Excel データ
（Excel データは、メール添付で送付してください）
- ⑧公表用論文要約（PDF 版）……………②と同じ CD-R 等に保存
（⑦で「要約公表」とした場合のみ提出・6000字程度にまとめたもの。提出は、口頭試問後でも可）
- ⑨最終学歴証明書（最終学歴が京都大学文学研究科以外の場合）……………1通
- ⑩論文審査手数料……………57,000円
※論文審査手数料（57,000円）は、論文提出（申請）日までに「三井住友銀行京都支店」（銀行コード0009、店番号496）、口座名義「国立大学法人京都大学」、口座番号「普通8089258」に振込み、領収証書等を提出してください。
（振込用紙使用、口座振替、ATM 現金振込、いずれも可）

注意事項

I 共通事項

1. 学位申請について あらかじめ関係教員の下承を得ておいてください。
2. 様式について 横書きとし、別紙様式1、2の記載例を参照し、作成してください。
3. 用紙について 上質A4判の白紙を用いてください。
4. 記入方法について
 - (1) 黒又は青色のペン、ボールペン、ワープロ又はタイプ印刷等の、永久保存に耐え得るものとしてください。
 - (2) 手書きによる場合は、楷書で正確・丁寧に記入し、あて字・略字は使用しないでください。
 - (3) 誤字・脱字のある場合は補正のうえ、当該箇所を捺印してください。なお補正の著しい場合には、あらためて作成してください。
 - (4) 所定の様式により「左とじ」とし、とじ込み幅を約2cmとしてください。

II 論文

論文は製本のうえ、表紙及び背表紙に論文題目、氏名のみを記載してください。ただし、年号の記載は自由です。所属・職名・授与予定日は記載しないでください。

(附属図書館保存用製本の体裁は、閲覧・永久保存を考慮された仕上がりであること。)

※ 簡易製本についても表紙に論文題目、氏名を記入してください。

電子データは、PDF ファイルとし、CD-R またはUSB メモリ等に記録のうえ提出してください。

III 論文目録

A 主論文

1. 題目について

- (1) 題目(副題を含む)は提出論文のとおり記載してください。ただし、欧文の場合、用字(大文字・小文字)については、この限りではありません。
- (2) 題目が外国語の場合、題目の下にその和訳を()を付して併記してください。
- (3) 題目を異にする数個の論文をまとめて、一編の学位論文としたものについては、その総合題目を記載し、個々の題目は記載しないでください。
- (4) ある主題のものに発表した数個の論文で、それぞれ当該論文に一連番号(例えば「第〇報」あるいは「第〇部」が付されているものを学位論文としたものにあつては、その一連番号は記載しないでください。

2. 発表の方法・時期について

- (1) 発表は、単行の書籍又は学術雑誌等の公刊物(以下「発表誌」という。)に登載して行うものであること。
- (2) 発表誌は、学術資料として大学その他の学術機関において保存され、随時閲覧し得るものであること。
- (3) 学位論文を編・章等その構成上の区分により、あるいは内容上研究事項別に分割発表することができること。
- (4) 論文全編をまとめて発表したものについては、その発表年月日、発表誌名(雑誌の場合は巻・号)又は発行所名等を記載すること。
また、編・章等の区分により発表したものについては、それぞれの区分ごとに発表の方法・時期を記載すること。
- (5) 学位論文(編・章等)とは別の題目で発表した論文をもって発表したものとする場合については、その題目を()を付して併記すること。
- (6) 未発表のものについては、その発表の方法、時期の予定を記載すること。
申請時において予定が定まっていない場合は「未定」とすること。

3. 冊数について

- (1) 学位論文1通についての冊数を記載してください。
- (2) 付図等を別冊として添付している場合はその別冊を加えた冊数としてください。
ただし、冊子としていない付図等を添付した場合は「〇冊(付図添付)」のように記載してください。

B参考論文

- (1) 主論文に準じ、その題目、並びに冊数を記載してください。
- (2) 共著のものについては共著者名を付記すること。共著者多数の場合は「〇〇〇〇ほか〇名共著」のように記載してください。
- (3) 参考論文が2種以上ある場合は列記してください。その記載順序は任意とします。
- (4) 前記Aの1の(4)に記載した論文を参考論文として場合は、当該論文の題目に付された一連番号は省略しないでください。

IV 履歴書

1. 本籍地について
都道府県名のみ記載してください。(外国人の方は国名を記載してください。)
2. 現住所について
 - (1) 住民票に記載されている住所(公称地名・番地)を記載してください。
 - (2) 学位授与の通知、その他通信上支障のないように、郵便番号、団地名、宿舎名、番号等を正確に記載してください。転居の場合には、必ず通知してください。
 - (3) 外国出張等で長期にわたり海外に在住する予定である場合については、その居住地を記載してください。また、日本国内の連絡先がある場合はその旨申請時に申し出てください。
3. 氏名について
 - (1) 戸籍のとおり記載し、通称等はいっさい用いないでください。ただし、旧姓で学位の発行を希望する場合は、学位記に記載する氏名についての申し出(様式11)を行ってください。(旧姓併記の場合も同様)
 - (2) 氏名にはふりがなを付してください。(外国人の方はカタカナで記入してください。)
4. 学歴について
 - (1) 高等学校(旧制中学校)卒業後の学歴について年次を追って記載してください。
 - (2) 入学・進学・休学・復学・退学・編入学・卒業・修了、その他在学中における身分上の異動についても、もれなく記載してください。
 - (3) 本学大学院博士後期課程に在籍した者にあつては、所定の研究指導認定(または見込み)・退学または所定の単位取得・退学についても記載してください。
 - (4) 在学中における学校の名称等の変更についても記載してください。
5. 職歴について
 - (1) 常勤の職についてその勤務先、職名等について年次を追って記載してください。ただし、非常勤の職にあつても、とくに教育・研究に関するものについては記載することが望ましい。
 - (2) 現職については、当該職について記載したあとに「現在に至る」と明示してください。
6. 研究歴について
 - (1) 学位申請上、特記すべきと思われる研究歴について、年次を追って、または事項別に記載してください。
 - (2) 学術に関する研究歴として記載する事項は、およそ次のようなものです。
 - a. 研究課題(共同研究を含む)に関するもの
 - b. 研修に関するもの
 - c. 学術調査に関するもの
 - d. 研究発表(著書・論文等)に関するもの
 - e. 学術奨励金に関するもの
 - f. 学会に関するもの
 - g. その他学位審査の参考となるもの
 - (3) 学歴または職歴として記載することが適当なものについては、研究歴の項に重複して記載しないでください。 ※業績欄は特に設けておりません。
7. 賞罰について
学位申請上、特記すべきものと思われるものを記載すること。

(別紙1) 上質A4判

論文目録

主論文

1. 題目 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (外国語の場合は日本語訳を付記してください)

注：副題も含めて提出論文のとおりに入力してください。「—」と「～」の違いなども充分ご注意ください。

また、提出後、一字でも変更のある場合は、必ず訂正したものを再提出し、指導教員にも連絡してください。

2. 発表の方法・時期

第○章 ○ ○ ○ ○ ○ (外国語の場合は日本語訳を付記してください)

○○年○○月発行

○○○○○第○巻第○号○○頁掲載

↑

(学術雑誌名等)

注：論文目次の題目と発表題目が異なる場合は、その題目に（ ）を付して入力してください。

一部未発表の箇所がある場合は、

他の部分の発表の方法・時期は未定（全○章、うち○章と○章）

3. 冊数 1冊

参考論文 注：参考論文のない場合は「なし」と入力してください。

1. 題目 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (1冊)

2. 発表の方法・時期

○○年○○月発行

○○書店出版

令和 年 月 日 申請（提出）日の年月日を記入してください。

外国人の方は西暦で記入してください。

学位申請者
氏名

(別紙2) 上質A3判二つ折り、または、A4判両面印刷 (A4判片面で収まる場合は、片面で可)

令和 年 月 日

申請 (提出) 日の年月日を記入してください。

※外国人の方は、氏名のふりがなはカタカナで、年号はすべて西暦で記入してください。

履 歴 書

本籍地 (都道府県名のみ。外国人の方は国名だけを記入してください)

現住所 (〒)

〇〇〇 〇〇〇 (ふりがな)
氏 名 〇 〇 〇 〇
平成 年 月 日生

学 歴

(※) 年度により、曜日の関係で異なりますので、教務掛で確認してください。

また、京都大学以外を卒業、修了、単位取得退学された方は、出身大学で正しい日付、学科名、専攻名等を確認の上、作成してください。高等学校の卒業日が不明な場合は、31日と記入してください。

平成〇〇年〇月 〇日 〇〇高等学校卒業 (旧制の卒業生は中等学校卒業から)

平成〇〇年4月 1日 京都大学文学部入学

平成〇〇年4月 1日 同学部人文学科〇〇〇〇〇系分属

平成〇〇年3月24日 (※) 同上卒業

平成〇〇年4月 1日 京都大学大学院文学研究科修士課程〇〇文化学専攻〇〇〇〇専修入学

平成〇〇年3月23日 (※) 同上修了

平成〇〇年4月 1日 京都大学大学院文学研究科博士後期課程〇〇文化学専攻
〇〇〇〇専修進 (編入) 学

平成〇〇年3月23日 (※) 同課程所定の研究指導認定 (または見込み)

注: 京都大学大学院に昭和51年度以前の博士課程進 (編入) 学者は「同課程所定の単位取得」と記入してください。

平成〇〇年3月31日 同上研究指導認定退学 (認定見込みの方は、記入不要)

注: 京都大学大学院に昭和51年度以前の博士課程進 (編入) 学者は「単位取得退学」と記入してください。

職 歴

注：採用、配置換、退職等年月日順に、職名を記入してください。

平成〇〇年〇月〇日 〇〇県〇〇高等学校教諭

平成〇〇年〇月〇日 同上退職

平成〇〇年〇月〇日 〇〇〇大学文学部講師採用

平成〇〇年〇月〇日 同 准教授 現在に至る

研 究 歴

注：日本学術振興会特別研究員、京都大学研修員、研究生は「研究歴」に記入してください。

平成〇〇年〇月〇日 京都大学研修員（文学部）

平成〇〇年〇月〇日 同上終了

平成〇〇年〇月〇日 日本学術振興会特別研究員

平成〇〇年〇月〇日 同上終了

賞 罰

平成〇〇年〇月〇日 ○ ○ ○ ○ ○ 受賞

注：学歴・職歴・研究歴・賞罰の年月日は正確に記入すること。また、該当事項のない場合は「なし」と記入してください。

<参考>

学位記（博士）に記載する氏名についての申合せ（抜粋）

学位記（博士）に記載する氏名については、研究者としての同一性を維持し、今後の研究活動の円滑な遂行の観点から、本人の申出（様式11）があったときは、次の取扱いによるものとする。

学位記の氏名は、戸籍上の姓、旧姓又は併記のいずれかの表記とする。併記の場合は、旧姓をカッコ書きとする。

学位授与証明書の氏名については、上記に対応するものとする。

旧姓を使用する者に係る大学発行の各種文書（上記を除く）に記載された戸籍上の姓と、学位記の旧姓との同一性証明については、申出者の自己責任とする。

博士学位にかかる氏名の取扱いは以下のとおり

1) 学籍通りの場合

学位論文審査願、学位論文、論文目録、履歴書は、すべて、学籍通りで申請する。

2) 旧姓併記の場合

学位論文審査願、学位論文、論文目録、履歴書は、すべて、旧姓併記で申請する。
（様式11）についても、旧姓併記で申請する。

3) 旧姓のみの場合

学位論文審査願、学位論文、論文目録、履歴書は、すべて旧姓で申請する。
（様式11）については、新姓で申請する。

様式11

令和 年 月 日

京都大学総長 殿

氏名 _____ 印

学位記に記載する氏名について

学位記に記載する氏名は、下記の「旧姓名・併記」を使用することを申請いたします。

記

旧姓名 _____

又は

併記

新姓 _____ (旧姓 _____)